

令和4年11月

普及活動報告



黒大豆エダマメ栽培を振り返って



新たな品目を提案

良質な農産物の出荷に向けて ～「京丹波味夢の里」農産物部会が研修会を開催～

(京丹波町：8日)

道の駅「京丹波味夢の里」農産物等直売所出荷者協議会主催の農産物部会会議が開催されました。直売所年間優秀者表彰式に続いて、直売部会長から、より良質な農産物の出荷に向けて、各出荷者でのしっかりとした検品の実施等が提案され、普及センターからは、黒大豆エダマメ栽培での今後の対策や小豆の貯穀害虫対策等を説明するとともに、新たな品目の提案を行いました。

各自での検品や、出荷物に対するルールづくり（最低価格の設定）等について熱心に意見交換が行われ、より良い直売所づくりに向けた熱意が感じられました。また、普及センターからの説明に対しても熱心に質疑応答が行われました。

場 所 道の駅「京丹波味夢の里」

出席者数 42名

コロナ禍のため3年ぶりの開催

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年11月

普及活動報告

～京都丹波農業を支える新たな担い手の活躍に期待～ 京都丹波就農サポート講座 修了式を開催

(8日)



土壤肥料についての講義

講座では、普及センター職員が土壤肥料及び農業経営について講義しました。修了式では、普及センター所長から激励あいさつの後、修了生1人ずつから受講の感想や今後の営農に向けた決意が述べられました。

修了生からは「講座を受講して自信を持って農作業ができる」「就労施設利用者への的確なアドバイスができるようになった」「就農に必要な基礎知識を学んだ。少量多品目生産だがデータを分析して5年後には本格的な経営を目指したい」「これを機会に交流を深めたい」等、感想や決意が述べられました。

普及センターは、今後も新たな担い手が地域に定着できるよう基礎栽培技術の習得や計画作成、経営の早期確立に向けた支援をしていきます。

場 所 園部総合庁舎
出席者数 27名

令和4年度修了生：19名（就労支援事業所：2名、亀岡市：3名、南丹市：5名、京丹波町：9名）、講座回数：全7回（5月24日から11月8日まで）

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年11月

普及活動報告

安心・安全な野菜栽培に向けて～川辺振興会が野菜栽培研修会を開催～

(南丹市：17日)



会長挨拶

南丹市園部町の川辺振興会が、川辺地域の野菜生産や、同振興会いきいき女性委員会の取り組みである朝市の発展に向け、野菜栽培研修会を開催されました。研修会では、普及センターから野菜の病害虫について写真を多用しわかりやすく解説したのち、農薬の適正使用についても説明しました。

出席者からは「今後の栽培に役立つ」「勉強になった。面白かった」等の声が聞かれました。また、研修会終了後も質問が寄せられ、安心・安全な野菜生産への意気込みが感じられました。



病害虫について説明

場 所 おいで～な川辺ランチ
ルーム（園部町船岡）
出席者数 21名

朝市開始以降、初めての研修会

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年11月

普及活動報告

京丹波町質美 秋のふれあい祭り ～農林産物品評会、3年ぶりに復活！～ (京丹波町：20日)



出品された農林産物

京丹波町質美地域で3年ぶりに農林産物の品評会が開催され、普及センターは審査員として、出品された野菜や果実等の審査と講評を行いました。

京丹波町、JA京都丹波支店、普及センターの職員が、出品された農林産物の品質や外観、出品方法等を審査し、特別賞5点、優秀賞5点を選出しました。出品された農産物は表彰式後、参加者に販売されました。

品評会の主催者からは「農産物がたくさん出品され、3年ぶりに品評会を開催できて嬉しい」との声が聞かれました。普及センターでは今後も、農林産物の品質向上に向けて適切な栽培を指導・支援していきます。



見た目や重さ、質感を元に審査

場 所 旧質美小学校
出席者数 6名

農林産物出品数：75点（参考：3年前開催時58点）

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年11月

普及活動報告



ほ場視察の様子

「畑女子in京都丹波」研修交流会開催！

(22日)

南丹管内の女性農業者グループ「畑女子 in 京都丹波」の研修交流会が3年ぶりに開催されました。

今回訪れた「(株)自然耕房あおき」では、有機野菜の栽培や加工、ギフト発送など幅広く経営を展開されており、ほ場を見学しながら有機栽培を始めた時の苦労や土作りのポイント、野菜セットの販売、農福連携などの事例について教えていただきました。

参加者から、有機農業の栽培管理や土作りについて自身の課題を上げながらさまざまな質問がありました。活発な意見交換ができ、「大変刺激を受けた」「来年度以降も元気な経営体の視察など交流会を開いて欲しい」という声が多くありました。

場 所 京丹後市大宮町

出席者数 13名

「畑女子in京都丹波」メンバー：17名

京都府南丹農業改良普及センター